

■枚方市立障害者社会就労センター指定管理者管理運営評価表（令和3年度実績）

| 公の施設の名称等 | | | |
|----------|--|-------------|---|
| 名称 | 枚方市立障害者社会就労センター | 業務内容 | 施設運營業務（障害者自立支援法附則第58条第1項の規定に基づき、同法附則第52条の規定による改正前知的障害者福祉法の規定の例による業務） 利用者支援業務（施設運營業務に基づき通所する知的障害者に対して必要な指導及び訓練を行う業務） 施設維持管理業務（施設及び施設の附属施設の維持管理及び修繕に係る業務） |
| 所在地 | 枚方市王仁公園2-2 | | |
| 設置目的 | 18歳以上の知的障害者で雇用されることが困難なものを通所させ、通所者に必要な指導及び訓練を行うとともに自活させることを目的として設置しています。 | | |
| 指定管理者 | | 公の施設の所管部署 | 指定管理期間 |
| 名称 | 社会福祉法人わらしべ会 | 健康福祉部 福祉事務所 | 平成30年4月1日から令和5年3月31日 |
| 所在地 | 枚方市王仁公園2-2 | 障害企画課 | (2018年4月1日から2023年3月31日) |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|---|--|---|----|---|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| 【施設の経営方針に関する事項】 | | | | | |
| I 施設の現状に対する考え方及び将来展望 | | | | | |
| 施設の設置目的等を踏まえた現状認識並びに今後の方向性が明確に提案されているか。 | 障がいがあっても、様々な人との交流を通じて社会の中に自身の役割が見出せる場となるよう継続した活動を展開してゆく。 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、交流の機会は減少したものの、みちみどり室と連携し、公園敷地内での引馬を試験的に行えた。アダプトプログラム花いっぱい運動を通して、スポーツ協会や高齢者施設・みちみどり室の園芸教室との交流が持てた。枚方市自立支援協議会就労部会の共同受注・優先調達ワーキングチームとして、優先調達案件に対応する。大型案件を市内事業所の協力連携し、市の就労継続事業所の工賃・賃金向上に貢献できたのではないかとと思われる。 | 4 | 利用者の意思を十分に尊重し、個々の障害程度、特性に合わせた作業内容が用意されており、必要な支援がなされている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、交流の機会は減少したものの、枚方市との連携や交流活動等を通じ、地域との相互交流を促進している。 それぞれの利用にあった活動が行われ、職員の役割が果たされており、利用者にとっても自身の役割が見出せる場となっている。 | 4 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|--|---|---|----|--|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| II 施設運営に関する計画 | | | | | |
| 施設利用料金による収入に見合う運営計画が立てられているか。 | 施設の管理運営費は障がい者総合支援法に定められた訓練等給付費及び利用料金により行います。 | 左記の内容通りに行ない、運営にあたっては、経費削減に取り組むと共に、適正な経営管理に努めたが、新型コロナウイルスの影響を受け、利用率は下がったが、令和3年度報酬改定により、基本報酬や加算等で大幅な減収にならなかった。 | 4 | 障害者総合支援法に基づく訓練等給付費においては国保連への請求事務が適切に行われている。また、利用料金の徴収についても適正に行われている。 | 3 |
| 施設の利用の向上に関する計画が具体的に提案されているか。 | 施設の役割を職員一人ひとりが十分認識し、チームワークを発揮して、各年度の実践計画を立て、利用者・職員共に一丸となり目標実現に努めます。 | 利用者・職員共に働く場の位置づけを共有し、自身の役割だけではなく他の作業部署とも協力連携して日々目標実現の為に取り組んでいる。利用者の職域拡大も順調で、1人の利用者が携わる部署・工程が前年度に比べ、更に増えたと思われる。 | 4 | 職員のジョブローテーションを行い、業務を兼務することにより、作業部署毎の連携が強化されている。また、利用者においても利用者の意思や障害特性を考慮したうえで、ジョブローテーションを行い職域の拡大を図り、利用者間の交流や本人の意識向上にも繋がっている。 | 4 |
| 関係法令及び本市条例等を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されているか。 | 関係法令及び市条例等を遵守し、本会が定めた基本方針に基づき支援を行います。 | 運営計画を基に、請負・温室・馬・清掃作業の他、外部に出る公園や高校の清掃・除草作業等、働くことを意識しながら、積極的に色々な作業を行っている。近隣小学校PTAや支援学校や地元企業から新たな作業も受注した。 | 4 | 運営計画に沿って利用者の障害程度や特性に応じて分担し、主体性をもって取り組めるような支援が行われている。近隣の学校や企業から作業受注を受け、積極的に地域社会に貢献している。 | 4 |
| 利用者に対する接遇対応向上について提案されているか。 | アンケート及び法人内のサービス向上委員会等を通じ、接遇向上に努めている。 | 定期的に事業所で、利用者に対する接遇について話し合い、接遇向上に努めている。アンケート内容も適宜見直しを行い、ニーズに対応できるように積極的に工夫を重ねている。 | 3 | 定期的に事業所内で話し合いの場を設け、利用者への接遇向上に努めている。また、研修制度の構築によりサービス向上、接遇向上が図られている。アンケート内容についても毎年見直しを行い、利用者ニーズを的確に把握できるよう取り組んでいる。 | 3 |
| 利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されているか。 | 各種マニュアルを整備し迅速に対応できるように準備している。 | 事故や防災等に関するトラブルは勿論のこと悪天候時や感染症・無断外出時などのマニュアル整備・見直しに努めている。又、利用者間や通勤帰宅途中等のトラブルに等に備えて、職員間は勿論のこと、家族や関係機関とも情報を共有している。新型コロナウイルスについてはマニュアルを整備す | 4 | 各種マニュアルが整備されている。危機管理マニュアル等を作成しトラブルに対応できるように体制ができています。新型コロナウイルスについてもマニュアルを作成し、状況に応じて見直しを行い、その都度利用者及び保護者に | 4 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|--|--------------------------------------|---|----|--|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| | | るが、日々、状況が変化していくので、法人全体として、緊急の管理者会議等を行い、最新の情報に基づいた対応ができるよう努力した。 | | 対して周知を行い、迅速に対応できている。 | |
| 利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されているか。 | 防犯カメラの設置等、対応を行っている。 | 数年前から事業所に防犯カメラの設置を行っている。公園内にあり、馬や喫茶等の事業を行っていることから、地域に開かれた事業所ということもあり、人の出入りを制限するようなことはできず、対応が難しい部分も否めない。昨年度同様、新型コロナウイルスの感染対策として、裏門の施錠・正門の開錠時間の縮小等、人の出入りを制限した。 | 4 | ヒヤリハット（気づき）シートを活用し、職員が問題点に気付くための視野を広げ、現場改善を図り、事故を未然に防ぐ取り組みができています。 新型コロナウイルス感染症対策のため、門の施錠や喫茶店についても時短対応やテイクアウトを行う等、予防対策がきちんとなされています。 | 3 |
| セルフモニタリング及び利用者等に対するアンケートの実施について提案されているか。 | 毎年度毎にアンケートを実施し、接遇向上につなげている。 | アンケート結果から推測されるニーズや問題点などの集計を職員間で情報共有し、終礼やミーティング等で、今後の対策や解決策を話し合い、利用向上に努めている。 | 3 | アンケート内容を毎年見直し、利用者ニーズを的確に把握できるよう取り組むとともに、アンケート集計結果を職員間で共有し、対応については利用者及び保護者に報告している。 | 3 |
| 【施設の管理等に関する事項】 | | | | | |
| I 施設の維持・管理に関する計画 | | | | | |
| 関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されているか。 | 障がい者総合支援法及び枚方市条例に基いた計画に努めます。 | 管理計画に沿った適切な施設保全に努めている。計画外の急を要する故障等についても、法人本部をはじめ関係機関と連絡を取り、随時、早急な対応を行っている。 | 3 | 定期的に消防点検・電気設備点検・ガス点検・警備システムを外部委託し、施設管理は適切に行われている。 | 3 |
| 建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されているか。 | 年度毎に建築設備及び消防設備検査を実施し安全で快適な環境提供に努めます。 | 管理計画に沿った適切な建築設備及び消防機器の点検を実施し、実施完了後は枚方市に適宣報告を済ませている。必要な修繕は適宣実施しており、市と相談しなければいけない案件についてはその都度相談し、対応している。数年前に台風による自然災害を経験したことから、敷地内の植栽や高木の剪定を行った。建築設備点検の不備箇所については、各業者に依頼し、全ての不備箇所を改善した。 | 3 | 定期的に各種点検が行われ、結果についても適宜、市に報告を行っている。 | 3 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|--|--|--|----|--|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| 文書の適切な管理・保存の提案がされているか。 | 関係法令に基いた文書の管理・保存を適切な場所で行います。 | 各種関係法令に基づき、記録管理を行い、求めに対しては迅速な対応が行えるよう体制を構築している。利用者個人の資料については鍵のかかる場所、硝子に保護シートを貼る等、個人情報管理に努めている。 | 4 | 文書の管理・保存は適切に行われており、市の求めに対しては迅速に資料提供ができる体制ができている | 3 |
| 施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされているか。 | 各種ゴミ（産業廃棄物）については、処理業者と業務委託契約をかわし、適切な処理を行っています。 | 各種ゴミ（産業廃棄物）については、毎年度、処理業者と業務委託契約をかわし、適切な処理を行っている。粗大ゴミについては法人全体で対応した。 | 3 | 業務委託により適切な処理が行えている。 | 3 |
| 備品管理にあたり、管理簿の整備並びに責任所在について提案されているか。 | 枚方市責任者と連携し、適切な管理に努めます。 | 備品管理台帳を作成し、保管場所等をはじめ適切な管理に努めている。又、保管場所等の整理を行い、どこに何があるのかわかりやすくしている。 | 4 | 市の立会いのもと、備品台帳の照合を行い、備品管理が適切に行われていることが確認できている。 | 3 |
| II 職員配置に関する計画 | | | | | |
| 業務仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されているか。 | 障がい者総合支援法の人員配置要件に基いた適正な人員配置を行っている。 | 法令上必要な配置基準を大幅に上回る職員数を確保し、手厚い支援は勿論のこと、様々な事業を展開・実施できるように努めている。 | 4 | 本市の条例、規則等で定めた指定障害福祉サービス事業等の人員、設備及び運営に関する基準に基づき、就労継続支援に必要とする適正人員を上回る配置が行えている。 | 4 |
| 障害者法定雇用率が達成されているか（申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ、雇用率が達成できるよう事業計画書で提案されているか。） | 障がい者雇用率は6.31%で、法定雇用率の2.2%以上の雇用を満たしています。 | 計画通り達成できているのは勿論のこと、障害福祉サービスを行っていることから、積極的な障がい者雇用率の向上に努め、2.63%の雇用率を実現している。 | 4 | 常勤の職員が退職されたが、法定雇用率以上の雇用は満たしている。 | 3 |
| 公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推進員」を設置しているか。 | 公正採用選考人権啓発推進員を設置している。 | 公正採用選考人権啓発推進員を選任し設置している。 | 3 | 法人の中で3名が公正採用選考人権啓発推進委員に任命されており、大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づく「適切な採用選考システム」による人事管理を行っている。 | 3 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|---|--|---|----|---|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| るか。 | | | | | |
| 業務に従事するものが、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修について、提案されているか。 | 法人全体で年に1回、役職員・常勤職員を対象とした法人全体人権研修会を実施しています。 | 法人全体で年1回、役職員・常勤職員を対象とした法人人権研修会を実施している。今年度は新型コロナウイルスの影響で、人権に関する動画を視聴し、レポートを作成するという形を取った。その他、事業所内での人権について考える機会の提供や人権に関する書籍購入や勉強会を行った。又、事業所内に虐待防止委員会を設置して、虐待防止に取り組んだ。 | 4 | 令和3年度については外部機関による研修の実施はできなかったが、動画視聴や勉強会が実施され、職員相互に意識や認識を高めるための取り組みが法人全体で推進されている。 | 3 |
| 男女雇用機会均等法に基づくセクシュアル・ハラスメント防止対策など、各種ハラスメントの防止対策について提案されているか。 | 各種ハラスメントの無い働きやすい職場環境をつくるため、啓発活動及び研修、勉強会等適宜提案し、法人全体で取り組んでいます。 | 各種ハラスメントに結び付くことがないよう、話しやすい場や関係づくりを意識し、相互に気付いて自浄作用が働く組織づくりに努めている。 | 4 | 職場環境改善委員会を設置し職員の意識や認識を高めることに努力されている。 | 3 |
| 障害者虐待を未然に防止する取り組みについて提案されているか。 | 虐待を未然に防止する取組みとして、職員に対する周知徹底とメンタルサポート体制の築かれた環境構築を目指します。 | 法人全体での人権研修会やメンタル面の衛生委員会等を実施している。例年、事業所でも虐待防止や権利擁護関係の研修に職員を積極的に派遣し、伝達研修を行っているが、新型コロナウイルスの影響で実施することができなかった為、その分、事業所内での人権について考える機会の提供や人権に関する書籍購入や勉強会を行った。令和4年度から義務化される前倒しして虐待防止委員会を設置し、虐待防止に取り組んだ。又、自分たちの接遇を考え直す機会として、コロナ禍で制限はあったものの積極的に看護学生、大学生の実習を受け入れた。 | 4 | 法人に虐待防止委員会を設置し、日頃から職員全体に対し周知すると同時にメンタルサポートも行い、施設における利用者虐待の防止に努めている。新型コロナウイルスの影響で虐待防止や権利擁護関係の研修に職員を派遣し、伝達研修はできなかったが、事業所内で人権について勉強会を行い、人権意識の強化に努めている。実習生についてはコロナ禍の制限下においても令和3年度看護学生、大学生を積極的に受け入れ、接遇を考え直す機会を持ち、利用者虐待の未然防止に努めている。 | 3 |
| 【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】 | | | | | |
| 枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報 | 財務諸表や工賃支給状況等必要な情報は公開を実施し、各種案内情報はホームページ及びパン | 工賃情報及び法人及び事業所情報に関するパンフレット等は、必要時にいつでも公開・配布できるよう整備に努めている。法人ホー | 4 | 事業者の障害福祉サービスの内容等を大阪府へ報告を行うほか、法人のホームページから財務状況や事業所の活 | 3 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|---|---|--|----|--|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| の公開に関する対応が明確に示されているか。 | フレットを提供できるよう努めています。 | ホームページ上での活動報告もこまめに更新しており、情報公開を積極的に実施している。 | | 動の様子等を見ることができる。 また、常時公開できるよう冊子やパンフレットを提供できる体制を備えている。 | |
| 枚方市個人情報保護条例の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されているか。 | 毎年度、契約時必要な案内を行ったうえで書面を取交し適切な情報管理に努めています。 | 個人情報の利用目的を明確にし、本人及びご家族に毎年同意を求め、ホームページやパンフレット等における画像・動画等の開示等においては、随時確認をとっている。又、利用用途に不明の点がある際の対応も適宜行っている。 | 3 | 毎年、個人情報保護の利用目的を丁寧な説明とともに書面で提示している。また、画像・動画等に関する個人情報については随時確認が行われる等、利用者への説明が適宜行えている。 | 3 |
| 【緊急時における対策に関する事項】 | | | | | |
| 緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されているか。 | 各種マニュアルを整備し、トラブル発生時には迅速で適切な対応がとれるよう、職員間で連携に努め、都度見直しも行っています。 | 職員連絡網や各種マニュアルを整備・作成し、適切に対応できるよう都度見直しを行い、修正・改善を図っている。平成30年度の自然災害対応マニュアル等の整備、家族・関係機関向けの通知に引き続き、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた通知やマニュアル整備に努めた。 | 4 | 各種マニュアルの作成や年2回の避難訓練を行っている。また、マニュアルについては、適宜見直しをする等して緊急時の適切な対応ができるよう備えられている。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に向けたマニュアルについても迅速に作成対応し、随時見直し、保護者への通知を適宜行えている。 | 4 |
| 緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されているか。 | 連絡体制を整備し行政・法人間事業所・家族会等共必要な連携が図れるよう準備しています。 | 緊急事例発生時を考え、各関係機関と密接に連携を図っている。又、法人全体でも連携が図れるよう、災害時緊急連絡メールのメーリングリストも都度更新し、災害等への体制づくりを行っている。上記にもあるが平成30年度の自然災害を受けて災害用備蓄（飲料水・缶入りパン）を購入し、毎年度、消防訓練の際は試食する機会を設けている。 | 4 | 各事例に応じ緊急連絡体制が構築され、法人全体で応援要請が出来る体制が構築されている。 H30年6月の地震後、経験を教訓に地震火災訓練を実施し、災害発生時の緊急対応について、再確認する機会を設けている。 災害用備蓄（飲料水・缶入りパン）について毎年度、消防訓練の際に試食する機会を設け、利用者自身の災害に対する意識や認識を高めることに努力されている。 | 4 |
| 本支社間、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示さ | 指定管理指定要項別表2のリスク分担表に基き運営を行っています。ただし、当法人だけでは | 指定管理基準に則したリスク分配が構築されており、都度適切な対応に努めている。数年前に台風による自然災害を経験したこと | 3 | 費用分担の区分に従い、適切な運用がされている。また、必要に応じて市と連携、協議が行われている。 | 3 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | |
|---|--|---|----|---|----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 |
| れ、かつ考え方に対応した分担内容となっているか。 | 対応できない問題に関しては枚方市と協議し対応を検討します。 | から、敷地内の植栽や高木の剪定を行った。建築設備点検の不備箇所については、各業者に依頼し、全ての不備箇所を改善した。次年度に向けて、王仁公園第2駐車場にかかる竹・植栽の台風対策として、2年に1回程度の計画的剪定を検討し、市と協議したが、予算が下りなかった。 | | 隣接する王仁公園駐車場にかかる竹・植栽についても、事前に市に報告が行われ、台風災害の未然回避につながった。 | |
| 【その他】 | | | | | |
| 利用者サービスを維持・向上させる具体的な取り組みについて提案されているか。 | 地域交流や社会貢献活動を積極的に推し進め、その役割の中に障がいがあっても必要とされる人材の育成を図っています。 | コロナ前は、馬やビバフェスタ等のイベント等を通して、地域との交流を図ってきたが、新型コロナウイルスの影響で殆ど行事を中止した他、敷地内等の人の出入りも制限せざるを得なかった。馬については、枚方市教育委員会からの小学校プログラムや低額な料金での乗馬体験等を実施している。外部での市内高校・公園清掃を行う。又、王仁公園でのアダプトプログラム等で、同じ公園内のスポーツ協会と協力連携し、地域ボランティアも取り組んでいる。事業所・公園内・外部と様々な場での地域交流を行い、人材育成を図ってきたが、新型コロナウイルスの影響で活動が制限された感は否めない中、みちみどり室と花いっぱい運動を通して高齢者施設や園芸教室との交流を持てたこと、パークマネジメント等で関わり、公園敷地内で引馬等を行えたことは成果である。 | 3 | 例年イベントの実施や、地元農家との連携など地域交流で社会貢献活動が継続的に行われているが、昨年度に続き令和3年度についても新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から予定行事のほとんどが中止となった。しかしながら、制限下の中ではあったが、小学児童への乗馬療育の実施、外部での市内高校・公園清掃や中高の職場実習・大学等の実習・インターンや馬のボランティアの受入等、利用者にも交流や体験等の機会提供が行われ、参加者の得意な分野を活かした活動で地域活動にも貢献し、本人も意欲的に作業に取り組んでいる。またスポーツ協会と連携し花いっぱい運動を実施し、近隣の高齢者施設との交流を積極的に行った。 | 4 |
| 環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等、具体的に提案されているか。 | 環境保全・温暖化防止に配慮して省エネルギー化に配慮した取り組みを行っています。枚方市に対してもエネルギー使用量の報告を行っています。また、当法人内においても「牛乳パック」「空き缶」等のリサイクル活用を行い環境保全に対して貢献できるよう努めています。 | 事業所内外の清掃は基より、環境整備に努めている。水道の蛇口の調整や不要な点灯を避ける・エアコンの調整等、省エネに努めている。馬から出る馬糞も、地域農家や近隣住民に渡し、秋には馬の寝藁として還ってくるといった循環型モデルとして機能している。又、事業所内で出た廃棄段ボール等も地域の廃品回収に出すことで、地域にも貢献している。法人全体でも牛乳パックを利用した紙漉 | 4 | 日頃から節電、節水に努め、エネルギー使用量の推移を常に注視している。作業時に出る廃棄物を施設内及び地域農家において再利用するなど意欲的に環境活動を行っている。 | 3 |

| 評価項目 | 事業計画の内容（目標） | 一次評価（指定管理者による評価） | | 二次評価（市による評価） | | | |
|------|-------------|---|-----|--------------|--------------|-----|-----|
| | | 実施状況 | 評価 | 評価理由 | 評価 | | |
| | す。 | きや空き缶リサイクル等の作業を行っており、環境保全に貢献している。平成 30 年度より開始したウサギのエサの袋詰め作業で出る廃棄分は馬の飼料として再利用し、事業所としての経費削減兼環境保全に努めている。 | | | | | |
| | | 一次評価（指定管理者による評価） | 平均点 | 3.7 | 二次評価（市による評価） | 平均点 | 3.3 |

| | |
|----------------------------|--|
| 一次評価者（指定管理者） 所見 | <p>R3 年度も新型コロナウイルスの影響を受けた 1 年であった。コロナ禍の中、枚方市障害者自立支援協議会就労支援部会事務局連絡会から派生した枚方市共同受注・優先調達ワーキングチームの運営に積極的に関わり、障害福祉担当以外の文化財課や都市計画課等の様々な部署の優先調達案件に対応し、件数・受注額も過去 4 年間で最大となった。特に除草・剪定作業は市内 4 事業所と共同作業をし、刈草の分別作業では広大な敷地や温室を最大限利用した。</p> <p>公益財団法人枚方市スポーツ協会とのアダプトプログラム（花いっぱい運動）などの地域ボランティアの活動も新型コロナウイルスの影響を受けたが、今年度は、近隣の高齢者施設の「花いっぱい健康づくりプロジェクト」の花苗贈呈式や、みちみどり室主催の園芸学校との花の植え替え等、新たな交流も増えた。社会貢献事業のひとつである馬事業については、コロナ禍の中、出来る限り地域向けの低額料金でのプログラムや教育委員会からの小学校プログラムなどを実施した。</p> <p>みちみどり室と話し合いを重ね、王仁公園内での引き馬なども段階的に実施できた。次年度は公園内でイベントを企画できればと考えている。</p> <p>就労事業については、新型コロナウイルスの影響を受けたが、新たな作業獲得等もあり、令和元年度の売上まで回復した。</p> <p>今後も障害者社会就労センターとして、利用者の工賃向上・一般就労といった就労支援は勿論のこと、公園内にある立地条件を活かした地域交流や社会貢献活動に取り組んでいくと共に、次年度は市から協力を依頼されている公園再整備や公園周辺の街づくりなどの協議会に参加していく予定である。又、枚方市の共同受注窓口として、市内事業所の工賃向上の一翼を担うと共に府内の共同受注窓口組織とも連携し、更なる広域なネットワークを形成していきたい。</p> |
|----------------------------|--|

| | | |
|-----------------------|------------------------|--|
| 総合評価 | 二次評価者（施設所管部署）所見 | <p>概ね適正に管理運営されています。</p> <p>利用者ひとりひとりの個性を重視したサービスが提供され、安定的な運営が図られています。</p> <p>令和 3 年度についても前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベント開催はほとんど中止となったものの、馬の飼育を通じた教育機関との連携や、地域との交流は定着した活動として施設の特色となっており、これらの活動を通じて利用者の社会参加が促進されています。また、就労移行のサポートの充実、受注作業の開拓や共同受注体制の構築により、就労支援の強化でいずれも</p> |
| 事業計画に則した適切な管理運営を行っている | | |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>成果をあげていることは評価できます。特に令和3年度は、優先調達ワーキングチームの運営に積極的に関わり、枚方市の障害福祉担当以外の様々な部署の優先調達案件に対応し、コロナ禍にもかかわらず件数・受注額が増加したことは、就労支援を強化していくうえでの成果として認められます。</p> <p>今後も適正な管理運営及び利用者支援を継続してください。</p> |
|--|--|--|

1. 利用状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 開館日 | 252日 | 248日 | 247日 | 246日 | 249日 |
| 施設利用者数 | 5342人 | 5271人 | 4875人 | 4558人 | 4339人 |
| 施設稼働・利用率 | 88% | 85% | 88% | 89% | 88% |

2. 収支状況

歳入 単位：円

| 項目 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 指定管理料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 利用収入 | 1,921,300 | 1,891,200 | 1,753,000 | 1,840,740 | 1,725,600 |
| その他 | 49,584,819 | 54,219,046 | 51,340,038 | 45,893,507 | 52,306,826 |
| 小計 a | 51,506,119 | 56,110,246 | 53,093,038 | 47,734,247 | 54,032,426 |

別掲として市への収入として 単位：円

| | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|-----|---|---|---|---|---|

歳出 単位：円

| 項目 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費 | 38,132,290 | 39,006,710 | 41,349,557 | 42,004,633 | 42,986,608 |
| 委託費 | 906,300 | 1,001,752 | 745,682 | 728,040 | 1,116,990 |
| 光熱水費 | 2,261,506 | 2,001,443 | 1,936,197 | 1,945,492 | 2,079,351 |
| 給食費 | 2,502,466 | 2,549,468 | 2,467,409 | 1,843,462 | 2,170,934 |
| その他の事業費 | 2,813,073 | 5,138,446 | 3,310,629 | 2,502,308 | 2,587,330 |
| 授産事業支出 | 7,472,428 | 8,550,578 | 10,468,416 | 8,691,181 | 10,556,543 |
| 事務費 | 2,901,597 | 3,088,646 | 4,724,977 | 2,868,720 | 3,560,360 |
| 備品購入費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 1,040,206 | 2,093,220 | 731,210 | 1,087,090 | 1,011,090 |
| 小計 b | 58,029,866 | 63,430,263 | 65,734,077 | 61,670,926 | 66,069,206 |

単位：円

| | | | | | |
|--------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 合計 a-b | -6,523,747 | -7,320,017 | -12,641,039 | -13,936,679 | -12,036,780 |
|--------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|